

「平成 24 年度 定時総会」5 月 18 日開催

関西地質調査業協会

関西地質調査業協会は、平成 24 年 5 月 18 日に「平成 24 年度 定時総会」を「メルパルク大阪」に於いて開催致しました。

全協会員 71 社の内 70 社の出席で総会は成立し、荒木理事長は挨拶の後、議長に着任し、議事進行を執り行った。小宮副理事長の 23 年度事業経過報告、ならびに各委員長の委員会活動報告、そして 23 年度決算報告・監査報告がなされ、それぞれ出席者から承認が得られた。次に、24 年度事業計画案ならびに予算案が審議され、その承認も得られた。質疑として、平成 23 年 9 月の和歌山台風被害による協会の緊急調査対応において、その対応方法と指導料の取扱いに関する質問があり防災委員会が答弁した。

以上の議事終了後、当協会の運営・活動に多年の功績が認められた 6 名の方々に感謝状と記念品が贈呈され、これにて定時総会は終了した。

引き続き、一般社団法人全国地質調査業協会連合会 会長 成田賢様による講演会を開催、演題は「全地連の今後の活動の方向性について」熱く語っていただき、約 70 名の協会員は熱心に聴講した。

講演会の終了後懇親会に移り、佐藤関西地盤環境研究センター専務理事の元気な発声により全員で乾杯し、その後は参加者全員が親しく和やかに懇談・会食し、盛況の内に閉幕した。



荒木理事長挨拶



小宮副理事長会務報告



総務・財形委員会報告



広報委員会報告



技術委員会報告



会計報告



監査報告



協会表彰



定時総会会場



講演会講師 成田会長



懇親会会場